バドミントン競技

1　期　　日　　令和５年９月24日（日）

2　会　　場　　春日市総合スポーツセンター（壮年男子、壮年女子、壮年混成男女の部）
篠栗町合併50周年記念体育館（一般男子）
篠栗町町民体育館（一般女子）
福津市立津屋崎中学校体育館（青年の部）

3　実施要項

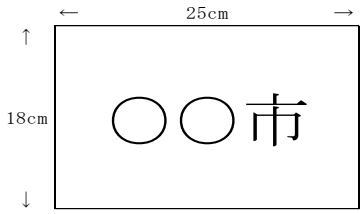
(1)　種　　別
一般男子、一般女子、壮年男子、壮年女子、青年の部、壮年混成男女の部

(2)　チーム編成
一般男子・・・1チーム監督１名、選手６名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
一般女子・・・1チーム監督１名、選手７名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
壮年男女・・・1チーム監督１名、選手７名以内
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位で編成
青　　年・・・1チーム監督１名、選手男女各３名
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位、政令市は区単位で編成
壮年混成男女・・・1チーム監督１名、選手男女各３名
監督は選手と兼ねることができる
郡市単位で編成

(3)　競技方法
ア　一般男女の部、壮年男女の部、壮年混成男女の部・・・パート別トーナメント式
青年の部・・・トーナメント式
イ　一般男子の部の試合順は、複・複・単で行い、同一選手が１対抗戦中重複して出場することはできない。
ウ　一般女子、壮年男子、壮年女子の部は、複の３試合とし、同一選手が１対抗戦中重複して出場することはできない。なお、大会当日、選手が６名そろわず複の３試合が行えない場合でも、４名以上であれば大会に参加できる。その場合、団体試合は第一複の１敗から始まる。初回戦では、残り２試合を終えた後、正式人数側が承諾すればオープン試合をして良い。
エ　青年・壮年混成男女の部は、女子複・男子複・混合複の順で行い、その内２試合を得た方が勝ちとする。なお、混合複は重複出場もできる。
オ　初回戦のみ全試合行う。

(4)　競技規則
令和５年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。なお、得点については、シングルス・ダブルスともに１ゲーム15点、２ゲーム先取の３ゲームマッチとする。※延長ゲーム（ジュース）はなし

(5)　試合シャトル
令和５年度（公財）日本バドミントン協会検定合格水鳥球（ヨネックスF80・ニューオフィシャル）シャトルを使用する。

(6)　注意事項
ア　服装は、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程によるものとする。
イ　ゼッケンは、白布に黒字で郡市名を明記し、背面に必ずつけること。
ウ　監督が選手を兼ねて出場する場合は選手の欄にも名前を記入すること。
エ　体温が37℃以上、もしくは体調に異変を感じた時には参加を中止すること。

（例）